



2026 年
1 月 7 日
No.A25-09

中東調査会は個人及び法人会員の賛助会費により運営されている非営利の公益財団法人です

中東調査会月間活動誌 (2025 年 12 月)

1. 中東調査会主催の行事

(1) トップ・ミーティング

・12 月 2 日 (火)、武田 洋子 三菱総合研究所
常務研究理事「2026 年の世界・日本経済の展
望～転換期の世界における日本の進路～」

(於：オークラ東京)

<要旨>

米国の内向き化をもたらす構造的要因を分
析し、そのうえで日本の経済状況と課題を整
理し、AI を中心とする日本の経済戦略の方向
性を示した。



(2) シンポジウム 「中東ユーラシアにおける 日本外交の役割」

・12 月 11 日 (木)、シンポジウム「中東ユーラ
シアにおける日本外交の役割」

(於：日本記者クラブ)

<要旨>

第一部では石合力・朝日新聞社編集委員をモ
デレーターに、溝渕正季明治学院大学准教授、

三船恵美駒澤大学教授、高尾賢一郎中東調査会
協力研究員、金子真夕中東調査会事務局長兼主
任研究員、江崎智絵防衛大学校准教授が、「秩序
再編」をテーマに、米国、中国、サウジアラビ
ア、トルコ及びイスラエルの各状況や思惑につ
いて議論し、質疑応答を行った。

続く第二部では、廣瀬陽子慶應義塾大学教授
をモデレーターに、中馬瑞貴 ROTOBO 主任、
中西久枝同志社大学大学院教授、笠井亮平岐阜
女子大学特別客員准教授、高橋雅英中東調査会
主任研究員が、「「連結」の新たな模索」をテー
マに、ロシア、イラン及びインドの思惑やエネ
ルギー問題について議論し、質疑応答を行った。



2. 中東調査会の活動

(1) 中東トピックスの発行【会員限定】

・2025 年 12 月号 (2026 年 1 月 7 日付)

1. ガザ戦争 (12 月の動き)：不透明な停戦の
第二段階への移行
2. シリア：アメリカ軍が「イスラーム国」へ
の大規模攻撃を実施
3. イラン：米国との関係仲裁の申し出を謝絶

4. トルコ：リビア参謀総長搭乗の専用機が墜落
5. エジプト：イスラエルによるソマリランドの承認とその余波
6. GCC：第 46 回首脳会議へのイタリア首相の参加

※内容はホームページをご参照ください。

(https://www.meij.or.jp/trend_analysis/topics/)

(2) 中東かわら版の発行

- ・No.101「イスラエル：ネタニヤフ首相による恩赦要請とその反応」(研究員 平寛多朗、12 月 1 日)
- ・No.102「エジプト：下院選挙で選挙区の半分以上が選挙結果無効に」(研究員 平寛多朗、12 月 2 日)
- ・No.103「シリア：社会と領域の解体傾向が続く」(特任研究員 高岡豊、12 月 3 日)
- ・No.104「パレスチナ：進むパレスチナへの象徴的連帯と現実の乖離」(研究員 平寛多朗、12 月 3 日)
- ・No.105「イラク：ヒズブッラー、アンサール・アッラーのテロ組織指定をめぐる騒動」(特任研究員 高岡豊、12 月 10 日)
- ・No.106「サウジアラビア：東部ジャーフーラ・ガス田開発の第 1 段階が完了」(主任研究員 高橋雅英、12 月 12 日)
- ・No.107「イスラエル・パレスチナ：イスラエルの過激派が妊娠したアラブ人女性に催涙スプレー」(研究員 平寛多朗、12 月 17 日)
- ・No.108「イスラエル・エジプト：ガザ地区のスマートシティ化を背景としたガス契約の承認」(研究員 平寛多朗、12 月 22 日)

※内容はホームページをご参照ください。

(<https://www.meij.or.jp/kawara/>)

(3) その他の活動

・12 月 9 日 (火)、雑誌『外交 vol.95』の座談会「輸送回廊」から見る中東ユーラシア秩序の行方」が時事通信社で開かれ、当会からは斎藤正道主任研究員が参加した。なお、『外交 vol.95』は、2026 年 1 月末に発売予定。

・12 月 12 日 (金)、当会を訪れたイスラエル SIGNAL Group のウィット事務局長ほかとの意見交換を実施した。

・12 月 18 日、「第 9 回中東における暴力的過激主義対策に関する対話」ラウンドテーブルが外務省で開かれ、当会からは高橋雅英主任研究員が参加した。

・12 月 23 日、エジプトのエル＝エトレービー駐日大使が当会の齋木理事長を表敬した。



・東京外国語大学が開講する単位認定科目「国際社会と地域 1／中東諸国の現在」へ当会研究員が出講した。

⑨ 「トルコ—外交—」(主任研究員 金子真夕、12 月 3 日)

⑩ 「イラン①：19 世紀以降の近代イラン史の概略」(主任研究員 斎藤正道、12 月 10 日)

⑪ 「イラン②：近代イランの歴史叙述と陰謀論」(主任研究員 斎藤正道、12 月 17 日)

3. その他

(1) 要人往来

- ・1 日、茂木外相は、イランのアラグチー外相と電話会談を行った。
- ・2 日、大久保ガザ再建支援担当大使がパレスチナを訪問し、パレスチナのムスタファー首相を表敬し、パレスチナ自治政府等の関係者とも意見交換を行った。
- ・17 日、茂木外相は、訪日中の UAE のスルタン・アル・ジャーベル産業・先端技術大臣兼日本担当特使と会談した。
- ・23 日、大西外務政務官はシリアを訪問し、同国のバルニーヤ財務大臣と会談した。
- ・23 日から 24 日にかけて、大西外務政務官はモロッコを訪問し、同国のムズール産業・貿易大臣を表敬し、またドリウォッシュ漁業長官、ヤズール外務省次官代理と会談した。
- ・26 日、大西外務政務官はアルジェリアを訪問し、同国のアッターフ外相を表敬し、またマグラマン外務次官、ワーダハ知識経済・スタートアップ・零細企業大臣と会談した。

(2) 外務省人事

- ・23 日（火） 離任
レバノン大使 馬越 正之

4. 1 月の予定

- ・1 月 21 日（水）、8:30～10:00、トップ・ミーティング（船越 健裕 外務事務次官「2026 年の日本外交の展望」、於：オークラ東京プレステージタワー 7 階 「メイプル」）
- ・1 月 29 日（木）、15:00～16:30、中東情勢オンライン講演会（久島 直人 駐カタール大使「最近のカタール情勢（仮）」）
- ・1 月末日、『中東研究』第 555 号（2025 年度 Vol.III）が発行予定。特集は「イラン・イスラエル戦争：包括的理解のために」。

※やむを得ない事情により、日時や会場が変更になることもございますのでご了承ください。また、この他にもイベントを開催することもございます。詳細等と併せまして、配信メールや HP をご参照ください。
(<https://www.meij.or.jp/event/>)

***会員の皆様は、どなたでも会員限定ページをご覧になれます。**

***ログインに必要な ID とパスワードは、御社の当会担当窓口にお問い合わせください。**